

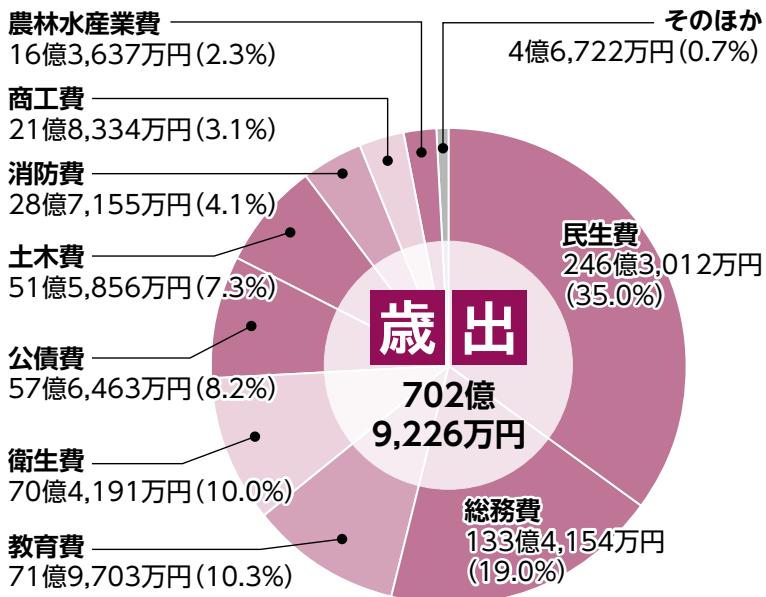
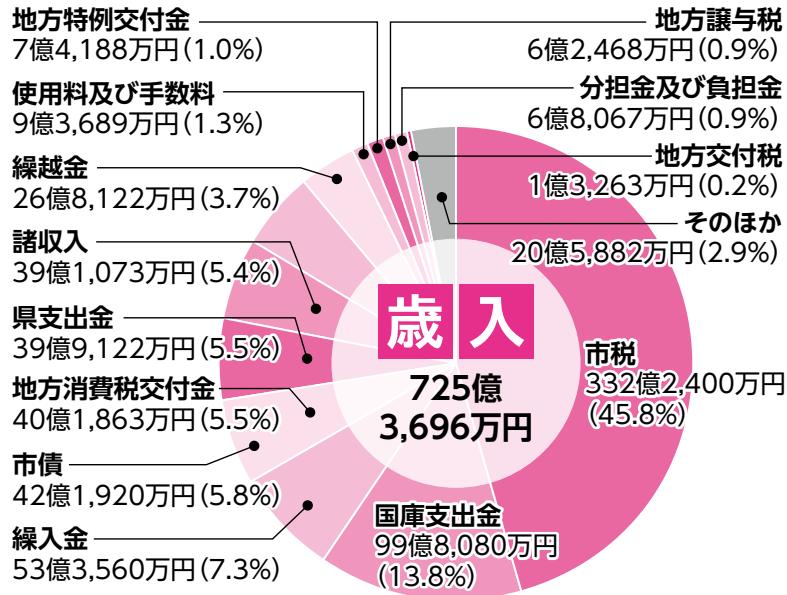
一般会計の実質収支額は18億6,050万円

令和6年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入が725億3,696万円、歳出が702億9,226万円で、差し引きは22億4,470万円でした。この中には、令和7年度に繰り越すべき財源として3億8,421万円が含まれているので、令和6年度の実質収支は18億6,050万円の黒字でした。詳細は市ホームページで確認できます。



市ホームページ

市の家計簿ともいえる決算の令和6年度分がまとまりました。皆さんから納められた貴重な税金がどのように使われているのかをお知らせするため、市では毎年、財政事情を公表しています（1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない箇所があります）。



決算の公表



定額減税**総務費****定額減税調整給付金支給事業など**

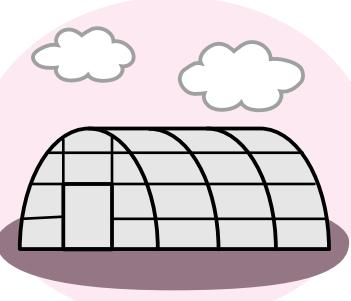
物価高騰に対応する支援として、所得税と個人住民税の定額減税を実施し、定額減税しきれない人へ定額減税調整給付金を支給した

民生費**児童手当支給事業など**

児童手当について、所得制限の撤廃と高校生年代までの支給期間延長に加え、第3子以降に対する多子加算の増額を実施した

衛生費**浄化センター整備事業など**

成田浄化センターの安定的かつ効率的な施設運営を行っていくため、再整備のための建設工事などを実施した

**農林水産業費****強い農業づくり支援対策事業など**

農業の生産力向上と産地力強化を図るため、市内農業者などが行う農業用施設や機械の整備に対して補助金を交付した

**商工費****企業立地促進事業など**

企業立地の促進を図るため、大字十余三区と芝区を対象に、産業用地創出調査を実施した

**土木費****不動ケ岡土地区画整理事業など**

不動ケ岡地区において、住宅系と商業系の土地利用を図るため、土地区画整理事業を推進した

**消防費****消防車両・装備強化整備事業など**

消防車両の維持管理を行うとともに、公津分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新整備し、消防力の強化を図った

**教育費****学校給食施設整備事業など**

老朽化した学校給食センター本所について、下方への移転・再整備の工事に着手した

**公債費**

市債の元金と利子を償還した

市債

市の借金の残高です

区分	令和6年度末現在	
一般会計	総務債	68億 752万円
	民生債	17億 7,900万円
	衛生債	23億 1,521万円
	土木債	97億 2,326万円
	消防債	11億 3,235万円
	教育債	183億 4,125万円
	災害復旧債	2,006万円
	合併特例債	3億 5,208万円
	そのほか	35億 5,076万円
	計	440億 2,148万円
特別会計	公設地方卸売市場債	120億 4,651万円
	計	120億 4,651万円
公営企業会計	上水道事業債	92億 6,134万円
	簡易水道事業債	14億 1,038万円
	下水道事業債	55億 3,764万円
	農業集落排水事業債	5億 9,541万円
	計	168億 477万円
合計		728億 7,275万円

特別会計決算

特定の事業を行うために、一般会計と区別して処理する会計です

会計名	歳入	歳出
国民健康保険(事業)	127億 9,298万円	126億 5,951万円
国民健康保険(施設)	1億 1,711万円	1億 702万円
公設地方卸売市場	7億 548万円	6億 9,032万円
介護保険	87億 6,410万円	86億 6,267万円
後期高齢者医療	17億 2,466万円	17億 1,990万円
合計	241億 433万円	238億 3,942万円

市有財産

土地・建物・物品・基金(特定の事業を行ったり、財源が不足したりする時に使う市の貯金)などがあります

区分	令和6年度末現在
土地	457万 3,732m ²
建物	48万 789m ²
物権	1,503.35m ²
有価証券	1億 6,205万円
出資による権利	65億 4,420万円
物品(車両など)	862台
債権	8億 6,672万円
基金	61億 5,776万円

公営企業会計決算

地方公営企業法の適用を受け、民間企業のように利用料金などの収益で運営している公営企業の会計です

会計名	水道事業会計		簡易水道事業会計		下水道事業会計		農業集落排水事業会計	
	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出
収益的収支	19億 9,696万円	21億 559万円	3億 453万円	3億 275万円	36億 2,689万円	35億 6,443万円	2億 3,336万円	2億 3,376万円
資本的収支	5億 8,168万円	13億 6,697万円	9,115万円	1億 5,349万円	11億 360万円	12億 3,198万円	6,233万円	9,059万円

※くわしくは財政課(☎20-1512)へ。

公営企業会計
水道事業では、今後数年間の水需要は緩やかに増加するものと推定され、給水収益の大幅な増加は見込みない状況にあり、収益の改善について、継続的に取り組む必要があります。水道事業では、積立基金18億円、定額運用基金3億円を運用し、基金運用状況調査の計数は正確であります。また、保水池の増設や備品の買い替えが、次年度の予算に計上できるよう保守点検の時期について検討されたい。

令和6年度成田市一般会計・特別会計・公営企業会計の決算と基金の運用状況について、地方自治法その他関係法令の規定に基づき審査した結果、決算書などの計数に誤りがなく、予算執行と事業の実施はおむね適正に行われていると認められました。
一般的会計・特別会計・基金総合計画「NARITAみらいプラン」の集大成となる第3期基本計画の初年度として、これまで実施してきた事業のさらなる推進に向け、様々な施策を積極的に展開してきたと料する。物価高騰の影響を受けている低所得者世帯に対する給付金などの各種支援策や、老朽化した公共施設等の改修及び整備工事などが執行され、期待される効果をおむね達成したものと認められます。これまで本市は、成田市場の整備や、国家戦略特区制度を活用した大学医学部の誘致などの大規模事業を進めており、今後も不動産開発地区、東和田南部地区及び吉倉・久米野地区における新たなまちづくりや、公共施設等の長寿命化等の大規模事業、一層の経費削減、市税の収納率向上や公有財産などを有効活用した自主財源の確立、国・県の補助金などの有効かつ確実な活用に努めるとともに、社会情勢に対応した施策の検討などをを行い、限られた経営資源を最大限に活用した財源配分と効率的・効果的な行政運営により、さらなる市民福祉の向上と市政の発展に努力されるよう要望します。また、常に市民の視点に立ち、より良い施策が進められるよう説明責任を十分に果たし、特に多額な財政負担等を伴う事業について、適時適切な情報発信に努め、「住んでよし働いてよし訪れてよし生涯を完結できる空の港まちなりた」の実現に向けて取り組まれることを強く望みます。基金については、積立基金18億円、定額運用基金3億円を運用し、基金運用状況調査の計数は正確であります。また、保水池の増設や備品の買い替えが、次年度の予算に計上できるよう保守点検の時期について検討されたい。

令和6年度成田市一般会計・特別会計・公営企業会計の決算と基金の運用状況について、地方自治法その他関係法令の規定に基づき審査した結果、決算書などの計数に誤りがなく、予算執行と事業の実施はおむね適正に行われていると認められました。
一般的会計・特別会計・基金総合計画「NARITAみらいプラン」の集大成となる第3期基本計画の初年度として、これまで実施してきた事業のさらなる推進に向け、様々な施策を積極的に展開してきたと料する。物価高騰の影響を受けている低所得者世帯に対する給付金などの各種支援策や、老朽化した公共施設等の改修及び整備工事などが執行され、期待される効果をおむね達成したものと認められます。これまで本市は、成田市場の整備や、国家戦略特区制度を活用した大学医学部の誘致などの大規模事業を進めており、今後も不動産開発地区、東和田南部地区及び吉倉・久米野地区における新たなまちづくりや、公共施設等の長寿命化等の大規模事業、一層の経費削減、市税の収納率向上や公有財産などを有効活用した自主財源の確立、国・県の補助金などの有効かつ確実な活用に努めるとともに、社会情勢に対応した施策の検討などをを行い、限られた経営資源を最大限に活用した財源配分と効率的・効果的な行政運営により、さらなる市民福祉の向上と市政の発展に努力されるよう要望します。

決算審査意見要約

成田市監査委員

同 同
秋あき 岩いわ 佐さ々木ささき
山やまと 佐さ々木ささき
和かず 宏ひろ
忍しのぶ 彦ひこ 之ゆき

また、簡易水道事業は、小規模事業のため採算性を求めることが難しく、依然として必要な財源の多くを一般会計からの財政支援に頼らざるを得ない状況です。また、令和6年度から企業会計に移行した農業集落排水事業では、大雨による浸水被害を軽減するための雨水管渠整備や、「成田市下水道総合地震対策計画」に基づく施設の耐震化など、日頃から備えの強化が求められています。また、令和6年度から企業会計に移行した農業集落排水事業では、一般会計からの財政支援により収益の不足を補い、収支の均衡を図っています。これらの事業は、地域住民の健康的な生活や経済活動に欠かすことのできないライフラインであることから、経営状況の分析を行いながら、引き続き、将来負担に備えた計画的かつ効率的な事業運営に努められるよう要望します。

総括意見

令和6年度決算審査を総括し、全局的に対応が必要な事項として述べた意見は次のとおりです。

1. 財源確保の徹底について

各収納担当課において、効果的な滞納対策に取り組み、収入未済額は減少しているが、財源の確保及び負担の公平性を図るためにも、引き続き、効果的な滞納対策を講じ、収入未済額のさらなる縮減と新規滞納の発生防止に努められたい。

また、今後、義務的経費の増加や大規模事業に対する財政負担が見込まれ、将来にわたって安定した財政運営を行うためには、財源確保は不可欠なことから、国や県の動向を注視し、新たな財源確保に向けた取り組みを検討されたい。

2. 収入未済額のさらなる縮減と新規滞納の発生防止について

予算編成後のやむを得ない理由により、流用等の必要が生じることは理解できるが、予算編成時の計上漏れなども見受けられたことから、改めて予算編成について検討されたい。

成時には、限られた財源を効率的に配分できるよう尽力された。

また、保守点検で判明した修繕や備品の買い替えが、次年度の予算に計上できるよう保守点検の時期について検討されたい。

秋あき 岩いわ 佐さ々木ささき
山やまと 佐さ々木ささき
和かず 宏ひろ
忍しのぶ 彦ひこ 之ゆき